

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	田尻地域福祉事業所 あぐりきっず		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・アットホームな雰囲気	・「ただいま」「おかえり」の挨拶から始まり、日々のスケジュールの中で、自由時間もしっかりととれるようにしている	・今後も職員で共通理解を図り、温かな雰囲気の中で過ごせるようにしていく
2	・個別支援	・専門的支援体制・実施加算を取得し、個々に合わせた支援をしている	・個別支援の内容を定期的に確認、相談し、スモールステップで進めていく
3	・菜園や戸外活動等の実施	・遊べる庭があるため、積極的に戸外での活動を取り入れるようにしている	・戸外活動に子どもたちの意見を取り入れるようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	計画作成、話し合い等の情報共有の改善	2現場あり、合同でイベントすることもある。今年度初めての合同イベントが多かったため計画、話し合いが不十分なところもあった	次年度に向けて、行うイベントごとを年度初めに決定し、それに向けて担当者、計画話し合いを段取りして十分に行えるようにする
2	地域交流の少なさ	地域交流は以前より少ないと職員の中で声が上がっていたが、行動に移せずにきた。そのため「あぐりきっずって何？」と地域の人にも認識がない様子	まずは自分たちから地域のお店に出向き、交流が持てるようにしていく
3	より安全な環境設定	バリアフリーにはなっていない、転倒箇所等気を付けなければいけない部分が多い	ヒヤリハット等を活用し、安全に不十分な箇所がある場合は早急に対応していく